

シートベルトベルト留め金解除の新システム（ベルトカッター不要システム）

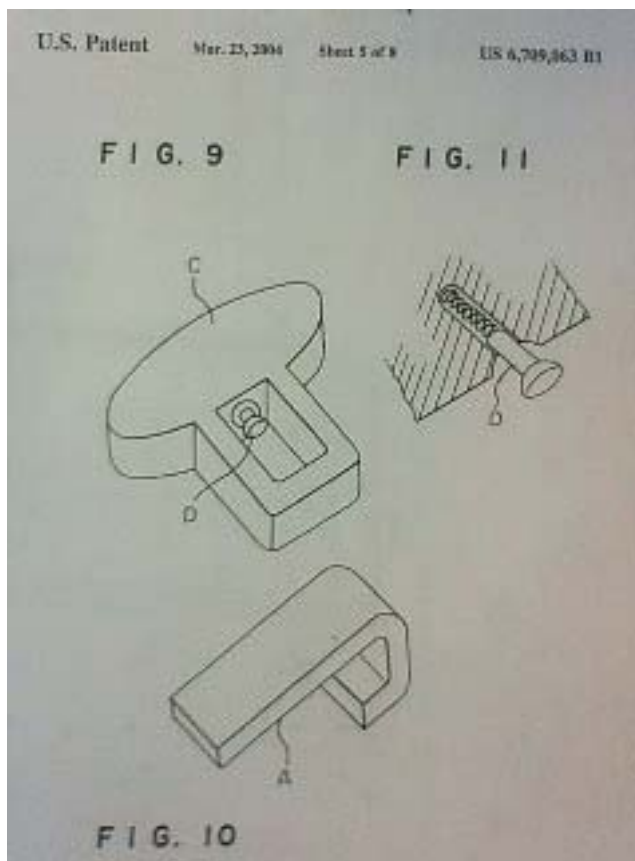
事故後に速やかに車外への脱出が重要です。

【電気磁石式ベルト留め金】

通常走行中はエンジン回転と連動した電気磁石により、ベルト留め金を磁力で固定し、事故等によりエンジン停止のときは、エンジン連動電気磁石の磁力がなくなり、ベルト解除を容易にするシステムです。

ただ、エンジン停止時でもベルトと留め金の関係が、バネ式のノブ（下図 D）により簡易固定してベルトが外れるのを防ぎます。又、「ベルト留め金の受け口（下図 C）」と「ベルト留め金（下図 A）」の関係は、「コの字」の形状により引っ張っている状態、又は惰性で前方への力が加わったときは、更に強固に固定され、逆に、留め金（A）を乗員側に引くとか、ベルトの張りを緩めると解除が容易となる構造となっています。

つまり、エンジン停止時での安全対策、エンジン作動中は電気磁石によりベルトが外れづらくなるシステム、そして事故時に簡単に解除できるシステムの併用により安全性を重視しています。



ニュースで、車が湖に転落して、運転者と助手席に乗車していた人が死亡したとの報道を

聞きました。ベルト留め金の解除を容易にすることが重要です。緊急時とか、怪我をしているときなど、ベルトカッターを探してベルトを切って脱出するなど非常に困難です。又、打撲等で意識が朦朧としているとき、繊細な指の操作を避け、「手の平で押す」だけの簡易な操作で解除可能としました。

【速やかな脱出の必要性】

- (1) 事故後、車の炎上や後続車の衝突に対応して、速やかに脱出する。
- (2) 事故後、速やかに後続車に事故を知らせ、二次事故を防止する。
- (3) 事故後、速やかに警察に連絡、救急車の対応をする。

【速やかな脱出が困難なケース】

- (1) 車が変形等して、留め金解除機能が故障する。ベルトカッターが必要なとき。
- (2) 頭部への衝撃等で、意識が朦朧となり、繊細な指の操作が困難なとき。
- (3) 事故の恐怖感で、通常の状態を維持できない。
- (4) 車が池などに沈み、車内に浸水する。